

郡山女子短大音楽科の皆さん 敬老の日にコンサートを開催

9月15日、えばかりで敬老の日にならみ郡山女子短大音楽科の皆さんがあれいコンサートを開催しました。

フルートの優しい音色を奏で、唱歌や懐かしい歌などを来場された方と一緒に口ずさむという、癒しのコンサートでした。

来場された方は「楽しい時間を過ごせました。またお願ひします」と話していました。



本宮出身の歌手故伊藤久男氏 駅前にモニュメント完成



モニュメント建立実行委員会が本宮駅前東口広場に建設を進めていた伊藤久男氏の胸像モニュメントが9月16日に完成しました。伊藤久男氏は本宮生まれ、昭和の歌謡史に残る「あざみの歌」、「イヨマンテの夜」、「栄冠は君に輝く」などの代表作で知られ、豪快で豊かな歌声で多くの人々を魅了しました。

モニュメントは、本宮駅に向かって左側の広場の一角に建立され、ボタンを押すと代表曲を聴くことができますので、本宮駅をご利用の際はぜひお立ち寄りください。

ここにちは市長です Vol.3



本宮市長
高松 義行

「1年6カ月という月日」

昨年3月11日の東日本大震災から1年6カ月という月日が流れました。全国で死者、行方不明者あわせて約1万8,700人という大災害は、決して忘れる事はできません。避難者は、今だ福島県の16万人を含め、約33万人を数えており、不自由な生活を余儀なくされています。

この1年6カ月、災害復旧とかつて経験したことのない放射能汚染対策に追われてきました。この間、市民の皆様をはじめ、本宮を故郷とする方々、上尾市などの交流都市、連携している各大学や企業の皆様から、心温まるご支援協力をいただいており、あらためて深く感謝申し上げます。

（9月19日執筆）



高松市長の講演を聴講

上尾市長会連合会の皆さんのが本宮市で研修



8月23日、島村 権上尾市長はじめ上尾市長会連合会の皆さんのが研修のため本宮市に来訪されました。えばかりで開催された研修会に参加された上尾市長の皆さんには、高松市長の本宮市の行政区制度と防災に関する講演を熱心に聴講され、災害時要援護者への対応、防災計画の見直し、自主防災組織と行政の関わりなどについて質問が相次ぎました。



（写真上）高松市長は「災害は忘れたころにではなく、忘れたらやってくる。今後も備えを万全にしていかたい。上尾市さんとは今後も交流をより深めたい」と話しました。

（写真下内）島村上尾市長は「上尾市長の皆さんには本宮市の復興のためにご協力いただきたい」とあいさついただきました。



▲福島県土木部長（左）に要望書を手渡す片柳平八駅前町内会長。袖山右一本宮3区町内会長、畠山晴夫本宮4区町内会長、北沢忠義駅前十字路商興会長、伊藤幸夫（株）Mot.com もとみや社長、高松市長、佐藤政隆県議が同席しました。

8月30日に、本宮駅前の県道本宮停車場線の改良整備を促進するため、地元の町内会長はじめ関係者の皆さん、県へ要望書を提出しました。これは、本宮駅前東口広場が7月に完成し、利便性向上と市民の交流の場として期待されていることや、この道路が駅前通りと呼ばれ市を代表するシンボル的な道路であることから、未整備区間約92メートルの早期改良を県に要望したものです。

福島県に県道本宮停車場線の改良整備を要望 市民の皆さんのが要望書を提出



チャレンジ・ザ・サマーイン直島2012に参加 瀬戸内海の大自然を満喫!

8月20日から4泊5日の日程で、市内の小学生25人が香川県の直島町で、ベネッセアートサイト直島が主催する「チャレンジ・ザ・サマーイン直島2012」に参加し、24日に無事帰ってきました。

これは、香川県の小学生と、自然体験、アート体験、キャンプなどを通じて交流を深めようというもので、昨年に引き続き、2回目の開催となりました。

▲参加した子どもたちは、海水浴をしたり、それぞれ練習した歌、踊りを披露したり、地元の小学生と交流を深め、楽しいキャンプを過ごしました。